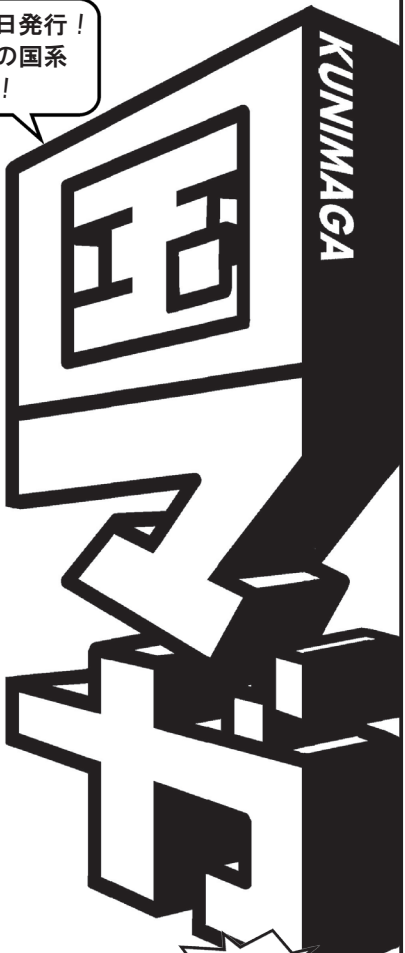


特集「祝!! こどもの国駅改良! これでやっと並み駅!?!」

毎月5日発行!
こどもの国系
情報誌!



KUNIMAGA

屋根は会社持ち、トイレは行政持ち!

Vol.24
2015年3月号

¥0

◆背筋が凍ったのは雪のせいじゃない?

今月末、こどもの国駅に新しい屋根とトイレが設置されます。こどもの国駅の屋根と言えば、昨年2月に降った記録的な大雪により、ホームの屋根が約40メートルにわたりホームや線路上に落下しました。幸い、朝の早い時間帯であったため、利用者は少なく、軽傷者が一人いたのみでした。

このニュースは、マスメディア各社で採り上げられ、特にインターネットのSNSでは、屋根が落下している画像が大量に投稿され、ちょっとした「ネタ」となりましたね。しかし、地元ユーザーとして、この事件で背筋を凍らせたのは、けつして、雪のせいじゃなかったはず。それまで、落下する可能性があった屋根の下で電車を待っていたのですから。事態を重く受け止めた国土交通省は、屋根落下の翌日に東急と施設を保有する横浜高速鉄道へ安全対策を徹底するよう文書で指導をしています。これを受けて行われた鉄道総合技術研究所の検証では、雨に濡れた雪が重くなり同法が定める以上の比重が屋根にかかったため、という結果となっています。今後は点検などをしっかり行うことを求めたいところです。

◆新しいトイレには10年分の願いが詰まっている
今回の小リニューアルは、屋根は横浜高速鉄道が行い、トイレは横浜市の予算から設置されるようです。「やわな屋根のお詫びにトイレでも」というわけではないんですね。一部報道によると、周辺自治会では、駅付近にトイレが無いことから、〇五年から何度も市にトイレ設置を要望していたようですが、安全面等を理由に実現できずにいました。そして、今年、最初の要望から十年越しのトイレが設置されることとなったわけです。

屋根の修理とトイレの設置、何気ない公共施設にも、そこにはドラマがあるものですね。



▲完成間近の新しい屋根! ▲進むトイレ設置工事



春間近のフンづくし考

花粉は、花のフンではない。花粉とは、おしべから出るこな状ひとりだけ「え、そう? やっぱ春ってやっぱ良いよね! はあ〜の〜うららのお〜」とか言ってる、深呼吸とかしちゃうって、平坦としているのである。そんなヤツは、世間から感性がかけ離れすぎていて、一生友達ができないだろう。

本号が発行される三月ごろは、もう空中にそのフンが舞いまくって、外に出るのがイヤになっている方もいるだろう。最近では、日本人全員が花粉症なんじゃないかと思えてくるぐらい、マスクをつけている人が多く、逆に、花粉症じゃないことが異常な感じがしてくる。

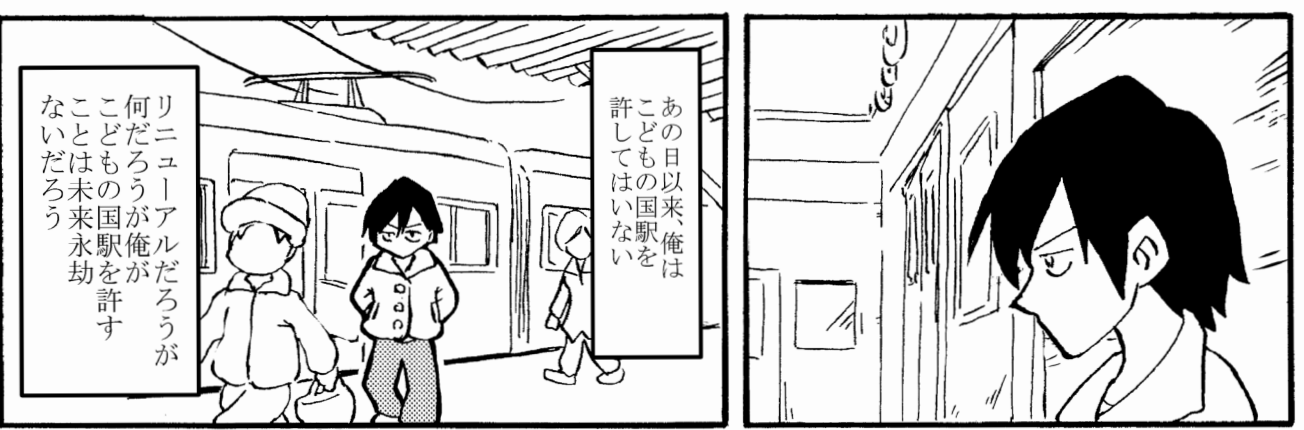
身の回りであれば、職場にいる十五人中、花粉症でない人間は二人のみで、それは、私と、事務所をドスドス歩く総務のおぼちゃんである。

花粉症の人があまりにツラそうにしているのを見ると同情するが、「多くの人が感じていることを自分が感じていない」ことは、自分が人間のニブい側にいるようで、それもそれでちょっと寂しい。これはすごく贅沢な悩みかもしれない。だが、花粉が本当のフンだったことを想像してみよう。



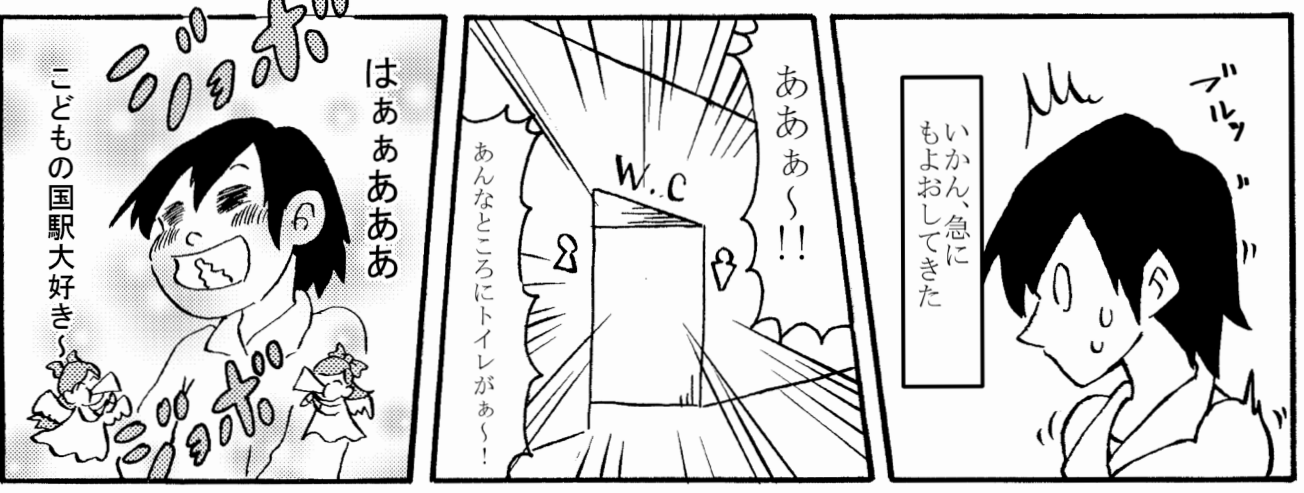
こどもの国駅が崩壊しとるー!!

がんばれこどもの国
加藤シュンスケ



あの日以来、俺はこどもの国駅を許してはいない

リニューアルだろうが何だろうが俺がこどもの国駅を許すことは未来永劫ないだろう



いかん、急にもよおしてきた

はあああああ

こどもの国駅大好き

コラム 引込線 育ち サリ志村



みんなが「うわ、くっせ、くっせえ!」と騒いでマスクをしているなか、ひとりだけ「え、そう? やっぱ春ってやっぱ良いよね! はあ〜の〜うららのお〜」とか言ってる、深呼吸とかしちゃうって、平坦としているのである。そんなヤツは、世間から感性がかけ離れすぎていて、一生友達ができないだろう。

この度、こどもの国駅に待望のトイレが設置される。とてもめでたい話だ。やっ、と、近代化した感じがある。駅のトイレってやつは、一体どれほどの人生を救ってきたらう。誰も、電車のなかで、急な便意に見舞われ、目の前が暗くなつたことは一度や二度は体験してきているだろう。

「そんなヤバイとき、どうしてます?」

学生時代のバイト中、暇すぎて、やたら腹を下すことで有名なK先輩に聞いたことがある。すると、得意気にこう言った。

「良いテク教えてやろうか? そういうヤバイときは、電車のなかを歩き回って、ずっと移動するんだ。マジで気が紛れるぞ」

それから五年経って、たまたま、そのK先輩を小田急線の車内で見かけることがあった。ウソみたいな話だが、その先輩は、早歩きで車内を移動しており、声を掛けるスキもなく私の前を通り過ぎて行ったのだった。

K先輩は、果たして、無事に次の駅で下車して、用を足せたのだろうか。

こどもの国駅に設置された新しいトイレには、出来るだけ多くの人生を救ってあげたいことを期待している。

国マガ配布店舗紹介
 いろいろ！国マガのある店！
 By オオキ
 ~ 17 ~

不動産 太平プラン



営業時間 10:00 ~ 19:00
 定休日 水曜
 045-983-1005
<http://www.kodomonokuni.co.jp/>

◆こどもの国の今昔
 新しい町に移り住むとき、誰もが世話になる不動産屋さん。この町に越してきた方から「太平プラン」で物件を紹介してもらった人もいるでしょう。去年、こどもの国駅から田奈駅へ移転した「太平プラン」小川さんに物件のことだけでなく、この土地の移り変わりなどお話を聞かせていただきました。早速、こどもの国育ちの小川さんに今と昔の違いについて聞いたところ、一言「今は、ズルい！」。いったい何が？と聞くと、自分が学生の頃は電車が朝9時から夕方6時半までしか走ってなかったし、1時間に2本だけだった。その上、お店もほとんど無くて不便だった。こどもの国線が通線したのは、ほんの15年前。それまで駅舎は木造、改札も自動改札でない簡単なものでした。今こそ、たかさんの家やマンションが立ち並び、スーパーや飲食店もあつますが、僕が幼かった25年ほど前をぼんやり思い返しても、竹やぶと山のイメージしかないもんなあ。それに比べたら確かに今はズルいくらい便利です。

◆太平プランにお任せあれ
 こどもの国駅近くに出ているカンバンに「こどもの国物件情報ナンバーワン」とあるとおり、この町の物件ならお手の物。という人におススメの町なのか教えてもらいました。実は日体大生や横浜美大生にとって穴場なのがこどもの国だそう。大学までのアクセスを調べたとき、最寄駅として青葉台駅が案内されるので、そちらの地域で探すケースが多いそう。しかし、こどもの国駅周辺なら同じ条件の物件が五千円から一万円は安く借りられます。加えて、自然が多く閑静で住み心地も良いときたら、これは住むしかない！

こどもの国物件情報ナンバーワン！
不動産屋 太平プラン
 田奈駅より徒歩2分

横浜市青葉区田奈町77-65 1F
 TEL 045-983-1005
<http://www.kodomonokuni.co.jp>

短編小説
二の母の記憶
 安原マヒロ

今日

駅前のトイレから外に出た瞬間、想像していなかった冷たい風が頬を切り裂いた。何か、猛烈な不安と違和感が足もとからせり上がってきて、Kは振り向く。今しがた自分が出てきたトイレの姿が変わり、工事用の仕切りに囲われていた。

先ほど最終電車で終着駅に着いたKは、一ヶ月前に設置されたばかりの新しいトイレに駆け込んだはずだ。そして、用を足しながら失恋の痛みを癒やすために参加した今日の合コンのことを思い出していたはずだ。合コンで連絡先を交換したSのことを思い出しながら、開放感とともに用を足す、四月の気持ちのよい宵だった。しかし今、Kの目の前に広がるのは、葉の一枚も芽吹いていない木々と、寒々としたコンビニの青白い光。トイレの姿もない。スマホの日付を見ると、二月の暦が映し出されていた。トークアプリに表示されているのは、Sとの初々しいやりとりではなく、当時まだつきあっていた彼女からのメッセージ「電話して」。酔いがみるみる覚めていくのがわかる。

トイレから出たら二ヶ月前に戻っている。Kはすぐさま、この二ヶ月で起こったことに思いを巡らす。犯罪や政治のニュースはいくつか思い出したが、株価や為替の変動は思い出せない。サッカーや競馬にも興味がないので結果がわからない。いや、何かあるはずだ。二ヶ月先まで生きたことがある、自分だけが得られる利益が。突然、スマホが鳴る。液晶には彼女の名前が表示されていた。そうだ、思い出した。「電話して」のメッセージのあと、彼女は電話をかけてきて、Kの態度に対しての愚痴を言い始めるのだ。その一方的な物言いに辟易として、Kは「じゃあもう別れようか？」とい言ってしまう。それが引き金となって、Kは彼女と別れることになる。つまり、今鳴っている電話の受け答え次第では、彼女との関係が全く未来があり得るといえる。散々後悔したあのひと言を言わないという選択ができる。

しかし、次に思い浮かんだのが今日、いや二ヶ月先の合コンで出会ったSのことだ。正直、Sは彼女よりも顔は可愛くない。しかし、女の子と話していて楽しいと感じたのは本当に久しぶりのことだった。ここで彼女と別れないという選択肢は、Sと出会う未来を選択するということではないか。いや、別れなくても会う方法はある。しかし、合コンという機会を経由せずに、連絡先の交換はあり得るのだろうか。電話の音が次第に大きくなっていく……

鳴り響くアラームの音でKは目を覚ました。窓から低く差し込む四月の朝の日光。おそろおそろ覗いたスマホの液晶には、Sとのやりとりがちやんと表示されていた。Kは朝特有の尿意を感じ、ベッドから起き上がった。トイレに向かった。

用を足しながら、奇妙な夢のことを思い出してニヤついた。水の流れる音を背にして、トイレのドアノブに手をかけたとき、Kの顔から笑いが消えた。この扉の向こうは、本当に今日ののだろうか。今日は、いつの今日なのだろうか。

国マガ配布店舗様

■こどもの国地区
 ・コンビニ「スリーエフ・こどもの国駅前店」
 ・パン「MONT」
 ・カフェ＆ランチ「おぐに」
 ・歯科「こどもの国歯科」
 ・そば「なごみ」
 ・イタリアン＆バー「Bacchus」
 ・コーヒー「GRIVE」
 ・ケーキ＆喫茶「セントポーリア」
 ・焼肉「はち」
 ・カレー「なつめ」

■奈良北地区
 ・本・文具「昭和書房」
 ・パン「Coonie」
 ・とんかつ「かつ元」

■青葉台地区
 ・パン「COPPET」
 ・接骨院「あつふる鍼灸接骨院」
 ・美容室「カットクラブKOGA」

■田奈地区
 ・不動産「太平プラン」

■町田市
 ・古着「ULTRABO」

国マガを置いていただける店舗を随時募集中
 お店を誌面に紹介お問い合わせは
 誌面末部のメールアドレスまで！

プレゼントが当たる！『国マガ』の感想アンケート！QRコードからアクセス！

国マガ年鑑発売中！
 ★2013～14年の『国マガ』の歩み『国マガ年鑑』！「Coonie」「GRIVE」「昭和書房」「スリーエフ・こどもの国」で販売中！

おぎぬまX 4コマ → 劇場！ #10

水路 行列 リニューアル

STAFF

加藤シュンスケ (代表) 会社員/イラストレーター (@kato_two)
 駅リニューアルに伴うトイレの設置は、頻繁に腹を下す私にとって何よりの知らせ。お腹弱い組にはあるあるだが、電車という乗り物には腹痛を引き起こす何かが存在しているんです。

サリー志村 編集者 (@shimamuramasari)
 朝、電車のなかで、OL風の方がゲームかなんかで、一心不乱にスマホの画面を高速タップしている姿を見ると、「このヒト、今が今日一番の早さで動いているんだろうな」と思っています。

オオキ 長男 (@OhQute)
 最近「東京都北区赤羽」という漫画 (&それを原作にしたドラマ) にハマっています。赤羽の町の奇人・変人がバンバン出てきて面白い。かなり笑えます。「横浜市青葉区奈良」にもそんな変わった人が実はいたりして？

おぎぬまX 元芸人 (@oginuma_x)
 こどもの国駅の屋根が復活して、国市民待望のトイレまで設置されるなんて嬉しい限りですね！ いずれは、売店に待合室や、空港とかにある平行なエスカレーターとかも設置して欲しいです。へへへ。

安原マヒロ ウェブ編集/ライター (@MahiriOriHaM)
 駅の屋根を崩落させたあの大雪からもう1年なんですね。屋根が崩れることより、時間の早さが怖い。まあ、もっと怖かったのはこどもの国駅にも駅前コンビニにもトイレがなかったことですが。
 ★誌面広告、スタッフへのお仕事の依頼も受付中！

こどもの国系情報誌「国マガ」Vol. 24
 発行日 2015年3月5日
 編集人 加藤シュンスケ 安原マヒロ
 連絡先 kunimaga920@gmail.com
 Facebookにてバックナンバー配信中！ → <https://www.facebook.com/kunimaga>

Facebook twitter
 Twitter ID @kunimaga920